

令和4年第2回定例会総体質問通告事項

	<p>檀 上 正 光 議 員 ( 市 民 連 合 )</p>	<p>質問方式:一問一答方式</p>
<p>3 月 9 日</p>	<p>1 地方財政計画と臨時財政対策債について</p> <p>(1) 新年度における地方交付税が前年度より大幅に増額された一方臨時財政対策債は大幅な減額となったが、それぞれ主な要因は何か</p> <p>(2) 公債費のピークは何年度で、減少期に入るのは何年度からか</p> <p>(3) 令和2年度と3年度の臨時財政対策債の発行は当初予算通りだったのか、市の判断で減額などされたのか</p> <p>(4) 令和3年度は補正予算で地方交付税の増額により、臨時財政対策債の償還財源が措置されたと聞いているが、対応したのか</p> <p>(5) コロナ禍が続いて今後とも収束の見込みは難しいと思うが、国は新年度で税収増加を見込んでいる、今後の国の税収や地方交付税についてどのような見通しを立てているのか</p> <p>2 新年度予算と総体説明について</p> <p>(1) 地方財政対策に示された重要課題について</p> <p>ア 令和4年度の予算編成にあたり、国が一般財源確保の要因とした「地域社会のデジタル化」「公共施設の脱炭素化の取り組み」「消防防災力の一層の強化」という3つの重点課題については、尾道市はどのように取り組むのか</p> <p>(2) 市税収入について</p> <p>ア 総体説明では、「市税全体で、前年度比2.5%、約4億3,000万円の増加を見込んでいる」としているが、市民税収入増加の要因を、どのように考えているか</p> <p>イ 法人市民税の大幅な増額は、どのような分析によるものか</p> <p>ウ 法人市民税均等割の対象となる法人数と、法人税割を納付した法人数について、コロナ禍の前と後の推移はどうか</p> <p>エ 個人市民税では、納税義務者数とその人口に対する割合は、最近、どのように推移しているか</p> <p>(3) 「まちなか文化交流施設整備事業」について</p> <p>ア 令和4年度に行う、旧三井住友銀行尾道支店の建物の耐震改修工事は、具体的にはどのような工事を予定しているか</p> <p>イ 工事完成后、旧三井住友銀行尾道支店はどのような活用をするのか</p>	

3 月	<p>ウ 旧三井住友銀行尾道支店からおのみち商業会議所記念館に至る一帯を、どのように整備し、どのような役割をもたせて活用するのか</p> <p>(4) 「マリンスポーツ推進事業」について</p> <p>ア 尾道市が、広島県の「わがまち♥スポーツ推進事業」の採択にあたり、様々なスポーツの中からマリンスポーツを取り上げた理由や経緯についてお聞きする</p> <p>イ マリンスポーツは様々な種類があると思うが、市長はどのようなマリンスポーツを考えているか。</p> <p>ウ サイクリングは子どもから高齢者まで、年間を通じて誰もが気軽に楽しめるスポーツである一方で、マリンスポーツは、夏の時期が中心で、専門的な知識や技術なども必要で、誰もが気軽に楽しむには少しハードルが高いように思うが、市長の考えは</p> <p>エ 広島県の補助金は3か年の継続のようだが、3か年でマリンスポーツを「サイクリングとともに地域振興の一翼を担うスポーツ資源」にするという目的達成は、なかなか難しいと思うが、市長の考えは</p>
9 日	<p>3 第2次尾道市農業振興ビジョンについて</p> <p>(1) 第2次尾道市農業振興ビジョンは、10年の取り組み期間中の中間年を迎える中、「施策の展開方向」である「むらをつくる」「農を育てる」「食をまもる」は、それぞれどのような取り組みを行ってきたのか</p> <p>(2) 「具体的な将来像」に掲げるそれぞれの目標について進捗状況はどのようになっているのか</p> <p>(3) 農業・農村・農家を取り巻く状況は年々厳しくなり、その要因には、高齢化・後継者不足、耕作放棄地の増加、有害鳥獣被害・大規模自然災害の多発、農産物の輸入増大など構造的な問題があると思われるが、どのように考えているか</p> <p>(4) 第2次尾道市農業振興ビジョンの中間検証・見直しでは、どのような施策の展開を考えているか。重点課題など基本的な考えを求める</p> <p>4 学校における働き方改革について</p> <p>(1) 「学校における働き方改革取組方針」は、この4年間でどのように実践されて、どのような成果が得られたか。その結果、教員の働き方はどのように変わったか</p>

